



区議会第3回定例会 平成22年度一般会計決算 ほか4特別会計決算を認定

区議会第3回定例会は、9月12日から10月12日までの31日間の会期で開かれました。

本会議の1日目は、4人の議員から区政全般にわたり一般質問が行われました(要旨は2・3面に掲載しています)。

本定例会では、議案37件が提出されました。このうち平成22年度決算5件は、決算に関する特別委員会を設置して審査を行いました(議案の審議結果は8面に掲載しています)。



掲載記事の
ご案内

あら坊

8面
意見書提出
採択した請願・陳情
議案の審議結果

7面・6面
委員会活動
議会運営委員会
常任委員会
特別委員会

5面・4面
決算審査の概要
決算の審査経過
監査委員による決算審査の報告
平成22年度主要施策の成果説明(要旨)
主な総括質疑
主な締めくくり総括質疑
決算に対する各会派の討論

3面・2面
区政のここをきく
一般質問要旨
守屋 誠議員(自民党)
小島 和男議員(共産党)
松田 智子議員(公明党)
菅谷 元昭議員(自民党)
第3回定例会の日程
区議会ホームページ

区政の「まなこ」を大きく一般質問要旨

新年度予算編成に向けた基本的な考え方と震災対策について



守屋 誠 (自民党)

新年度予算編成に向けた基本的な考え方について

東日本大震災による未曾有の危機に直面し、米国の財政不安などで経済の先行きが不透明だが、区財政にどのような影響を与えるのか。新年度の予算編成に向けてどのような見通しや考え方を考えて臨むのか、区の認識を問う。

米国の財政不安に伴う円高の影響など、我が国の景気の先行きは予断を許さない状況にある。当区も経済情勢の影響を受けることは例外ではなく、新年度予算編成に当たり、マイナスイメージなどにより、既存の事務事業についてこれまで以上に徹底的に見直すとともに、必要な施策には重点的に予算を投入していく。

区の財源を確保するため区民債の活用も考えられる。特に高齢者の安心安全な信託先として、高齢者に有利な利率を設定する区民債を発行することは有効な手法と考えるが、区の見解を問う。

区の資金調達や住民参加というこれまでの側面に、高齢者の安全な資金運用先という新たな側面を加えた提案と受け止めている。預金利子や資金運用に関する動向などについて見据えながら検討していく。

震災対策について

区内で震災が発生した場合、区民が長期に避難生活する場としてグリーンパール那須や清里高原少年自然の家などが考えられるが、十分とは言えない。新たに八ヶ岳学校キャンプ場跡地に平常時には施設活用し、災害時には被災者の避難生活の場になりうる施設を検討すべきと考えるがどうか。

現在、区では地域防災計画の見直し作業を行っており、応急仮設住宅の建設用地の選定も含めた区民の長期避難場所の確保について検討している。八ヶ岳学校キャンプ場跡地については、区の資産を有効に活用する提案と受け止め、その趣旨に沿って検討していく。

今回の大地震による電力不足の問題に対し、区民に安全で無害な電力を供給するため、三河島水再生センターに水力発電装置を設置することについて、見解を問う。

三河島水再生センターは放流落差がほとんどないため、現状での導入は難しいと聞いているが、技術の進歩や施設の再構築などにより一定規模の発電が可能となれば、水力発電による電力供給の可能性も出てくる。技術的側面や採算性の面も含めた実現可能性について、都下水道局と調査検討していく。

今回の震災で区内でも建物の被害が出た。区民が安心して住み続けられる住環境を確保していくため、融資あっせん制度の充実を図るべきと考える。また、すでに改修工事を行っている所有者に対して、時期をさかのぼって利子補給の支援をすべきと考えるがどうか。

損壊家屋の建て替えや改修は、所有者の生活再建などのために必要と考える。今回の震災を踏まえ、融資あっせん制度を効果的に現況に即したものにすするため、対象住宅の範囲や補給利率の改定に向けた検討を進めるとともに、制度の適及についても検討する。

その他の質問項目

○荒川区の活性化策について

区の放射能汚染対策と待機児童ゼロ、豊かな保育のために



小島 和男 (共産党)

放射能汚染から子ども、区民の健康と命を守るために

区独自に放射線量の測定を実施するよう求める。同時に区内で測定を行った首都大学東京の協力を得て、本格的に学校・幼稚園・保育園などの放射線量測定を実施すること。

現在、区内では各専門機関により放射線量測定が行われている。また、首都大学東京が区内で行った測定の情報もいただいている。いずれも健康に影響を及ぼす値ではないとされされており、独自の測定は必要ないと考える。

区が独自の放射線量測定を実施した上で、放射線量の基準を持つて、砂や土の入れ替えなどの除染を行うことを求める。

独自の基準による砂場等の除染については、現在の空間放射線量が、健康に影響を及ぼす値ではないことから、実施することは考えていない。

小中学校や保育園などで、給食食材の安全性を確保するため、

区として食品の放射能測定を行うこと。

区立の全ての小中学校、保育園などでは、使用する給食食材の産地の確認を行っているため、現時点で、区が改めて独自に食品の放射能測定をする必要はないと考えている。

区は子ども・子育て新システムに反対するとともに、東京都児童福祉審議会で検討されている認可保育園の最低基準面積の緩和に反対すること。

子ども・子育て新システムについては、様々な機会を活用し、国や都に対し必要な意見や要望を申し述べていく。最低基準面積について、荒川区は規制緩和地域に指定されていないが、指定された地域の動向等を注視していく。

緊急に認可保育園の増設を求める。

区内の待機児童数は減少しているが、日暮里地域は待機児童数が最も多い。このため、民間保育施設の誘致や(仮称)東日暮里三丁目保育園の整備を進めるなど、保育供給量の拡大を図っていく。

9月12日 本会議

9月13日 本会議

9月14日 決算に関する特別委員会

9月15日 文教・子育て支援委員会

9月16日 建設環境委員会

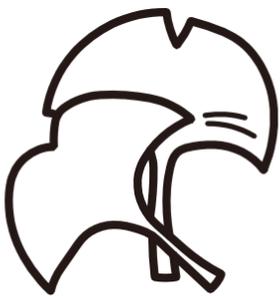
9月22・26・27・29・30日 福祉・区民生活委員会

10月3・4・5日 決算に関する特別委員会

10月7日 議会運営委員会

10月12日 本会議

【第3回定例会日程】



詳細については現在作成中の会議録がほしい、区立図書館及び区役所2階の情報提供コーナーにおいて閲覧できます。また、荒川区議会ホームページ (<http://www.city.arakawa.tokyo.jp/kugikai/>) で平成13年5月以降の本会議録を検索することができます。あわせてご利用ください。



あら坊

子どもたちへの防災対策と 荒川区ふれあい館構想及び 区民施設の整備について



松田 智子
(公明党)

子どもたちへの防災対策について
震災時に幼稚園・保育園・小学校において、統一的な避難体制を確立し、マニュアル化が必要。また、マニュアルに基づき避難訓練を定期的に行う必要があると考えるが、区の見解を問う。

保護者への引き渡しを原則とする。今後は、共通のマニュアル作成に向け、協議を進め、区の防災計画の見直しとともに、児童等の安全確保を第一とする取り組みを検討する。また、保育園では、マニュアルに基づき避難訓練を行っており、有事の際には、園児の安全を第一に対策に努める。

子どもたちの避難場所として、耐震化が完了し、ミニ備蓄倉庫も完備している学校の役割を今こそ生かすべきである。そのため「放課後子どもプラン」の一日も早い全校実施を求める。
今回の地震では、各「放課後子どもプラン」実施施設においては、児童の安全を確保し、保護者が迎えに来るまで学校内で保護することが出来た。今後、実施校の拡大に努めていく。

備蓄倉庫の備蓄体制について、高齢者のための保存食、食物アレルギーの対応などについて、今回の震災を機に見直ししていくことが必要と考えるが、区の見解を問う。
区では、避難所となる小中学校などにミニ備蓄倉庫を設置し、備蓄物資の充実に努めてきた。今後も高齢者やアレルギー疾患の方など特に配慮を必要とする方々へより実践的な訓練を実施する必要があると考えるが、見解を問う。

指定管理者制度を導入している区施設について、今後区民サービスをどのように向上させていくのか。また、ひろば館の整備・点検も計画的に進めるべきと考えるが、区の見解を問う。
地域の意見・要望を生かすつ、区民サービスのより一層の向上を図れるよう指定管理者への助言指導を図っていく。また、ひろば館の補修や維持管理をきめ細かく対応していく。

東尾久地域でのふれあい館整備について、地元から地域にあった特色ある施設を望む声が上がっている。用地確保が難しいとは思いますが、今後より積極的な取り組みが必要と考えるがどうか。
地域の核となるふれあい館を建設することは、コミュニティのさらなる活性化を図る上で大変有益と考えている。整備に向け、地権者の意向把握等を行っており、用地確保に全力で取り組んでいく。

その他の質問項目
○不妊治療対策について
障がい者や高齢者にやさしい尾久のまちづくり
○委員会議録音中継
常任委員会、議会運営委員会、特別委員会の模様を音声で配信しています。音声はそれぞれの委員会会議録が完成するまでの間、掲載しています。

地域防災計画の見直しと教育の 課題について



菅谷 元昭
(自民党)

地域防災計画の見直しについて
被災者救援の担い手として期待される若い世代には、防災を身近なものとして意識してもらって、意識改革への地道な取り組みが必要と考えるが、区の見解を問う。

い世代にも防災意識が高まり、町会・自治会の防災訓練にも多くの若い方が参加いただいております。さらなる普及啓発に取り組む。

区民一人ひとりが、災害時に自ら判断し対応できるような防災行動力を身に付けることが重要である。そのため、地域の特色を踏まえ、実際の避難生活を想定し、

区民の安全安心を確保する上で貴重な財産である消防団と町会とが相互に連携協力し、災害応急活動に当たれるよう、今後とも荒川・尾久両消防署と力を合わせ支援に努めていく。
学校の指導指針が明確になったことや、学校独自の個性あふれる取り組みを支えるなど、地域から高い評価を受けた。今後は、よ

学校パワーアップ事業の第二期開始に当たり、これまでの取り組みを踏まえて、成果をどう捉えているのか。また、今後どのような方向性で充実を図るのか、区の見解を問う。
学校の指導指針が明確になったことや、学校独自の個性あふれる取り組みを支えるなど、地域から高い評価を受けた。今後は、よ

その他の質問項目
○安定的な税収確保の方策について
○介護保険・介護予防について
○セメントサイロについて

荒川区議会ホームページを ご覧ください

荒川区議会では、ホームページを開設しています。議会の活動状況をお知らせするほか、議会のしくみ、傍聴案内など、区議会に関する様々な情報を掲載しています。荒川区議会ホームページの主な内容は次のとおりです。

- 議会録画中継
本会議の録画映像をご覧になることができます。映像は1年間掲載しています。
- 委員会議録音中継
常任委員会、議会運営委員会、特別委員会の模様を音声で配信しています。音声はそれぞれの委員会会議録が完成するまでの間、掲載しています。
- 区議会会議録の閲覧
本会議は平成13年5月以降、委員会は平成20年4月以降の会議録を閲覧できます。また、委員会の資料を閲覧することもできます。
- 議会日程
本会議、委員会の開会予定日時を掲載しています。
- 議員名簿
荒川区議会議員の会派別、委員会別の名簿を掲載しています。
- 議事内容
平成13年第一回定例会以降の一般質問要旨、議案の審議結果、意見書、採択・趣旨採択された請願・陳情を掲載しています。
- 区議会だより(PDF版)
平成15年第一回定例会号以降の荒川区議会だよりをご覧になることができます。
- ホームページアドレス
http://www.city.arakawa.tokyo.jp/kugikai/



平成23年荒川区議会第4回定例会は
11月29日に開会する予定です。

平成 22 年度決算を認定 決算に関する特別委員会

平成 22 年度一般会計歳入歳出決算ほか 4 特別会計歳入歳出決算は、議長・監査委員を除く全議員で構成される決算に関する特別委員会（委員長＝守屋 誠、副委員長＝吉田詠子）を設置し、9 月 22 日から 10 月 5 日まで審査を行い、いずれも認定することに決定しました。



監査委員による決算審査の報告

平成 22 年度各会計歳入歳出決算について、決算書ほか地方自治法に定める書類等を審査いたしました。このような経済、財政状況にあっても、区政は、区民をしつかり支え、区民の誰もが幸せを実感できるように、様々な行政課題に的確に対応するため、引き続き歳入の確保と効率的、効果的な事務処理に一層努めていく必要があります。

その結果、決算計数に誤りはなく正確であり、各会計の決算内容、予算の執行状況等も概ね適正と認められましたので、その旨の審査意見を区長あて 8 月 26 日に提出いたしました。

審査意見書において述べておりますが、区財政運営は、収支状況、基金及び地方債残高の状況等が示すとおり、健全であり、評価できるものであります。

しかし、我が国の経済は、東日本大震災の影響を受け、電力供給の制約、原子力災害の懸念があり、世界的な不況の中、為替レートの変動等、景気の下振れリスクをかかえております。

そうした経済情勢を背景に、区の基幹的収入である特別区民税や都区財政調整交付金などは減少し、支出面では、生活保護費などの社会保障関係経費が増加するなどの

平成 22 年度 荒川区主要施策の成果説明（一部抜粋・要旨）

生涯健康都市
○地域ぐるみの健康づくり推進事業
生活習慣病の発症や進行を防ぐ生活習慣づくりの重点を置き、健康づくり自主グループの育成支援、あらかわ満点メニューの開発、健康応援店の拡大など、地域での健康づくり活動を支援した。

子育て教育都市
○汐入東小学校の開校
白鬚西地区におけるファミリー世帯の急増に対応するため、平成 22 年 4 月に新小学校「汐入東小学校」を開校した。1 階には、平成 20 年度に暫定園舎で開園している汐入こども園を併設した。

産業革新都市
○モノづくりクラスター形成促進事業
「荒川版クラスター」の形成を目指す「荒川区モノづくりクラスター（MACCプロジェクト）」を推進し、「新事業、ベンチャー企業の創出」、「既存企業の第二創業や経営革新」の促進を図った。

環境先進都市
○低炭素地域づくりの推進

決算の審査経過

9 月 22 日
○監査委員意見（鳥飼秀夫監査委員）
○決算の概況説明（副区長）
○主要施策の成果説明（副区長）
○総括質疑（8 会派）
※主な質問項目は別掲

9 月 26 日
○一般会計歳出審査（議会議費・総務費）
○一般会計歳出審査（総務費）
9 月 27 日
○一般会計歳出審査（総務費・民生費）
9 月 29 日
○一般会計歳出審査（民生費）
9 月 30 日
○一般会計歳出審査（民生費・衛生費・環境清掃費・産業経済費）
10 月 3 日
○一般会計歳出審査（土木費・教育費）
10 月 4 日
○一般会計歳出審査（教育費・公債費・諸支出金・予備費）
○一般会計歳入審査

10 月 5 日
○採決
○採決の結果
認定することに決定

10 月 5 日
○採決
○採決の結果
認定することに決定

○縮めくり総括質疑（8 会派）
※主な質問項目は別掲
一般会計歳入歳出決算
採決
採決の結果
認定することに決定

文化創造都市
○東京芸術大学との連携事業
芸術家グループによるデッサン教室、子どものための藍染教室、保育園児対象のワークショップ等を開催した。

安全安心都市
○防災区民組織、防災関係機関と連携した防災対策の構築
総合震災訓練等を実施するとともに、D 級ポンプの再配備を行い、防火水槽を当初予定の 2 か所に加え、新たに整備した東尾久五丁目防災広場の 3 か所に設置した。

計画推進のために
○区税等の支払方法の拡充
特別区民税・都民税・軽自動車税の支払方法について、新たにコンビニエンスストアやクレジットカード等での収納を開始した。

○現状と撤去の強化について
空き店舗活用支援事業の現状と今後の課題について
空き店舗情報の発信方法と創業者に対する支援策について

○防災無線に対する区の認識と補完的ツールの導入について
高層住宅の防災に対する調査と実情に応じた対策について
経費抑制や震災の備えの点から自治体クラウド導入について

○策の見直しすべき点について
家具転倒防止、耐震助成等の促進に向けての改善策について
区独自による放射線量の測定と給食食材の検査について

主な総括質疑

自民党 茂木 弘 委員
本庁舎、区内施設、学校等の自家発電装置の設置について
防災井戸の非常用電源確保の必要性について
災害時における区内の私立学校との協力体制について
本部機能を強化する地域防災計画の見直しについて

自民党 明戸 真弓美 委員
街の美観を損なう違反広告物の

公明党 中村 尚郎 委員
防災無線に対する区の認識と補完的ツールの導入について
高層住宅の防災に対する調査と実情に応じた対策について
経費抑制や震災の備えの点から自治体クラウド導入について

共産党 小林 行男 委員
東日本大震災を踏まえて防災対

民主・市民 竹内 明浩 委員
D 級ポンプの水利の確保策と小学生参加の防災訓練について
首都直下型地震による断水地域への対応について

元気クラブ 斎藤 裕子 委員
区独自の放射線測定と結果の公表について

日本創新党 小坂 英一 委員
低放射線へ過剰反応は日本分断加担。分断を防ぐ行政の堅持を

正論の会 浅川 喜文 委員
私立幼稚園が大幅に不足する南千住に、区が誘致すべきである

改革の会 藤澤 志光 委員
高齢化社会への対応と幼児の能力を伸ばす教育について
総括質疑の模様をご覧になりたい方は DVD を広報課及び各区立図書館で貸し出します。ご利用ください。

日本創新党 小坂 英一 委員
低放射線へ過剰反応は日本分断加担。分断を防ぐ行政の堅持を

正論の会 浅川 喜文 委員
私立幼稚園が大幅に不足する南千住に、区が誘致すべきである

改革の会 藤澤 志光 委員
高齢化社会への対応と幼児の能力を伸ばす教育について

元気クラブ 斎藤 裕子 委員
区独自の放射線測定と結果の公表について

平成22年度 決算の概要

単位：円

	予算現額	歳入(収入率)	歳出(執行率)	歳入歳出差引 残高
一般会計	85,563,037,000	82,923,530,850 (96.9%)	80,455,761,660 (94.0%)	2,467,769,190
特別会計				
国民健康保険事業	24,547,000,000	22,771,310,682 (92.8%)	22,693,042,127 (92.4%)	78,268,555
老人保健医療	69,582,000	22,316,844 (32.1%)	22,316,844 (32.1%)	0
後期高齢者医療	3,732,000,000	3,669,763,538 (98.3%)	3,557,097,566 (95.3%)	112,665,972
介護保険事業	13,412,776,000	13,204,153,215 (98.4%)	13,051,291,228 (97.3%)	152,861,987
計	127,324,395,000	122,591,075,129	119,779,509,425	2,811,565,704



主な締めくくり 総括質疑

- ・健全な財政運営を行うための各指標の水準について
- ・災害時に基礎的自治体が果たすべき役割について
- ・学校内のミニ備蓄倉庫の状況と夜間・休日の対応について
- ・災害時の水、トイレ、通信、電力の確保策について
- ・特別養護老人ホーム待機者数と施設整備の検討について
- ・地域包括ケアシステムの構築に向けての認識について
- ・リサイクルセンターの整備に向けた状況について

北城 貞治 委員

公明党

菊地 秀信 委員

- ・休日・夜間における放置自転車撤去の実施について
- ・自転車駐車場使用料値下げと近隣区との使用料の統一について
- ・小中学生、教員に対する放射能及びがん教育の実施について

共産党

斉藤 邦子 委員

- ・国民健康保険の公費負担のあり方について
- ・都立公園内の放射線量測定を都に依頼することについて
- ・再生可能エネルギーを積極的に活用する施策について

民主・市民

瀬野 喜代 委員

- ・NPOの貧困家庭を対象とする勉強会への区の支援について

- ・こどもの貧困対策への教育・福祉・子育て各部の連携について

元気クラブ

斉藤 裕子 委員

- ・駅前再開発ビルなど超高層建築物周辺の風害の危険性について

日本創新党

小坂 英一 委員

- ・自動車優先から自転車・歩行者優先の街への転換について

正論の会

浅川 喜文 委員

- ・汐入公園に図書館・集会所等の複合区民施設を整備せよ

改革の会

藤澤 志光 委員

- ・職員削減に伴う余剰財源の活用と人件費比率について

平成22年度決算をどう評価する

10月12日の本会議において、平成22年度一般会計決算について各会派から討論が行われました。その要旨をお知らせします。

賛成

徹底的な行財政改革と事務事業の再点検・再構築の取り組みによる財政状況の改善を評価

自民党

区政全般では、経常収支比率や公債費比率は適正な水準を維持しており、さらに財政健全化法に基づく健全化判断比率の四つの指標は、いずれも適正な水準となっている。荒川区の財政状況がここまで改善されてきたのは、我が党が主張してきた徹底した行財政改革や事務事業の再点検・再構築に区が取り組んできた結果と評価する。

防災分野では、東日本大震災の検証を踏まえ、地域防災計画や防災訓練等の見直し、ミニ備蓄倉庫の再点検・整備など対策の充実強化を期待する。防犯対策としては、防犯パトロールや暗がり対策、防犯カメラ整備補助など、引き続き区民が安心して生活できるまちの実現に向け、関係機関や地域と連携し、さらに強化してほしい。

健康・福祉と子育て支援の分野では、介護予防対策の充実、特別養護老人ホームの待機者解消、障がい者の就労支援の充実、待機児童解消に向けた保育施設の整備、放課後子どもプランの全校実施などについて要望する。

教育では、学校パワーアップ事業のさらなる充実や国語力向上策の推進による福祉関係経費の増大、学校を始めとする区施設の維持・更新、首都直下地震に備えた防災まちづくり事業など多額の財政負担が見込まれる。今後の区政運営に当たっては、引き続き財政の健全性を確保しつつ、さらなるスクラップアンドビルドの方針で事業の重点化を図るべきである。

賛成

概ね良好な財政運営を評価、今後も財政の健全性を確保し、施策や事業の重点化を図るよう要望

公明党

本区の財政運営の健全性を見ると、経常収支比率は、23区中ではほぼ平均的な水準を維持し、特別区債残高も減少し、償還が着実に進んでいる。健全化判断比率においても四つの指標は引き続き早期健全化基準を大きく下回るなど、概ね良好な財務内容といえる。しかし、都区財政調整交付金は大幅に減少している一方、今後も少子高

の具体的な実施、給食後の歯磨きの全校実施を要望する。道路や公園整備では、区道の電線類地中化の推進や(仮称)宮前公園の早期整備、「花と緑の基本計画」に基づいた具体的な取り組みを期待する。

産業振興では、区内のものづくりに産業の活性化や商店街ルネッサンス推進事業の積極的な推進などで、商店街活性化への取り組みが一層進められることを期待する。また、就労支援課の設置で若年層の就労支援や区内の中小企業等の雇用促進が図れることを期待する。

観光振興及び地域振興では、バラの市やシダレザクラ祭りへの積極的な支援などで、観光振興と地域の活性化が図られることを期待する。また、ふれあい館の積極的

具体的施策では、我が党が区長に提出した「平成22年度予算要望書」に掲げた項目は、概ね予算化され執行されている。さらに決算特別委員会が我が党は、防災無線の補完的ツールの導入、高層住宅の防災対策、クラウドの活用、放置自転車対策、放能教育・がん教育の導入、区民住宅の空き家対策、債権管理の徹底、避難所運営訓練の導入など様々な要望や提案を行った。いずれも前向きな回答がなされ、今後、実現に向けて早急な検討を強く要望する。

平成22年度決算については、区民の幸せのために数多くの事業や取り組みを積極的に進め、着実に執行がなされたものと評価する。今後も引き続き区民サービスの向上に努力するよう求め、賛成の討論とする。



反対

区独自の放射線量測定未実施は容認できない。防災・福祉最優先で政策の順位を見直すべき

共産党

構造改革による社会保障切り下げ、非正規雇用、貧困と格差の広がりの中で、未曾有の東日本大震災、原発事故は、政治のあり方を問うことになった。区政でも防災・福祉最優先の立場からの政策の優先順位の見直しが必要である。

第一に、「木造密集地域の耐震支援強化」、「マンションの備蓄横揺れ対策」、「家具転倒防止支援」などに全力を挙げるとともに、あわせて放射能汚染対策について、独自に測定を実施してこなかった区の姿勢を改め、新たな対応を求める。第二に、最低生活費以下で生活する区民への支援が必要である。介護保険料の値上げを抑える措置や保険料減免制度の実施を求める。また、国民健康保険の一部負担金減免・支払猶予制度の活用

賛成

防災、中小企業支援、待機児童の解消、人工透析患者を減らす取り組みなど、予算への反映を要望

民主・市民

東日本大震災では、荒川区でも当日は帰宅困難者への対応などに追われ、その後、放射能汚染への不安、電力不足による節電対策など現在もなお影響が続いている。この震災を受け、飲料水の行き渡る体制の確保、区民参加による備蓄倉庫の点検、木造密集地やブロック塀等耐震対策などの取り組みを期待する。また、震災の影響から地域の中小零細企業は大変厳しい状況となっている。身近な自治体として支援を求める。保育園待機児童対策では、マンション建

反対

区民経済を潤さない偏った土地購入・施設建設。放射能測定をしない区長に方針変更を求める。

元気クラブ

区は4年間で91億円、この年度は8億1千万円を投入して土地を購入した。日暮里生まれの吉村昭氏は文学館を荒川2丁目につくる必然性はなく、土地取得が先行した

財政の健全化を行いながら、区民本位の施策の着実な展開を評価

賛成

財政の健全化を行いながら、区民本位の施策の着実な展開を評価

日本創新党

反対

国民健康保険料未収分補填の実態を情報開示し、保険料徴収の抜本的見直しを求める。

正論の会

国民健康保険料未収分22億円の補填に区民税を充当し一方的に納税者に押し付け、全く説明してこなかったことは納税者無視である。又、区の幹部職員には財政規

賛成

概ね良好な財政運営を評価、人件費や保育園・幼稚園教育のあり方を要望

改革の会

財政運営について概ね良好であり、これを良しとするが、気にな

発事業にも反対だ。また、社会資本の役割がある商店街への際立った効果のある支援策はなかった。荒川区は唯一放射線の独自測定を行っていない。保護者たちは4千筆の署名を提出、連名で学校給食の安全を求める要望書も出された。区長の「安全宣言」にもかかわらず、区民の不安は募っている。西川区政の方針変更を強く求める。

不要不急の「箱モノ」との批判が根強い。公共用地取得で区民の幸福は実感されていない。

ように、ロタウイルスワクチン接種への独自補助を国に先駆けて推進するよう強く求める。議員定数の削減断行などは正すべき課題が山積みである。また、区

の期待に応える区政運営を求め

決算特別委員会が時間が無く言及できなかったが、①太陽光発電装置を設置した10校に蓄電池の整備を求める。②燃えない街・心通う街づくりを目指す端緒として「鎮守の森」創りに着手すべきである。③教育の基本は正しい日本語の習得です。日本語の素読を全小学校で実践すべきと提案する。

多く見られる。職員を萎縮させずに誇りを持つて、区民目線で区政に臨まることが必要である。さらに教育について、全国各地の保育園・幼稚園で実践している教育方法では、園児が自学自習で読み書き・計算を始め、体育・音楽等にも目覚ましい成果を挙げている。区もこのような教育方法を研究すべきと述べ、賛成討論とする。

委員会活動

5月27日～10月12日

平成23年第1回定例会終了後から平成23年第3回定例会最終日までの間の各委員会の活動状況をお知らせします。

議会運営委員会

- 5月27日 正副委員長を互選
- 6月3日 第2回定例会について
- 6月20日 第2回定例会について
- 7月1日 議会改革に関する検討
- 7月26日 議会改革に関する検討
- 7月27日 行政視察を実施(長野県塩尻市「塩尻市議会基本条例」、長野県松本市「議会活性化のための取り組み」)
- 8月29日 第3回定例会について
- 9月8日 第3回定例会について
- 10月7日 第3回定例会最終日について

常任委員会

- 5月27日 正副委員長を互選
- 6月6日 委員会所管の組織及び分掌事務
- 6月24日 第2回定例会提出予定案件

総務企画委員会

- 6月24日 議案審査 8件
- 〔所管調査事項〕
- 東日本大震災等に伴う中小企業支援策



あら坊

〔所管調査事項〕

- 区内団体等によるシンボルキャラクター「あら坊」の使用
- 荒川区自治総合研究所「荒川区民総幸福度(GAH)」に関する研究プロジェクト」の中間報告書
- 荒川区自治総合研究所「子ども
- の貧困・社会排除問題研究プロジェクト」の最終報告



- 7月21日～22日
- ・区外施設視察(グリーンパール那須)

8月30日

- ・第3回定例会提出予定案件
- 【所管調査事項】
- ・平成23年度都区財政調整(当初算定)の荒川区算定額
- ・平成22年度の指定管理施設の実績評価
- ・大規模商業施設内の小売業者及び営業時間の変更

9月14日

- 【議案審査】5件
- 【所管調査事項】
- ・平成23年度行政評価の結果報告
- ・平成22年度荒川区包括年次財務報告書



あらかわ遊園

福祉・区民生活委員会

9月15日

- 【議案審査】5件
- 【所管調査事項】
- ・平成24年度区立幼稚園等の入園募集
- ・荒川区子ども読書活動推進計画(第二次)案
- ・荒川遊園におけるプロポーザル方式による公募の実施

5月27日

- ・正副委員長を互選
- 6月6日
- ・委員会所管の組織及び分掌事務
- ・第2回定例会提出予定案件
- 【所管調査事項】
- ・東日本大震災に伴う災害援護資金の貸付
- ・高齢者見守りネットワーク事業の再構築
- ・区内特別養護老人ホームの申請及び人調整の変更
- ・いきいきボランティアポイント制度事業
- ・有料老人ホームショートステイ事業(補助事業)の実施

- 【議案審査】4件
- 【所管調査事項】
- ・高齢者の熱中症対策
- ・脳ドック受診助成事業

7月12日

- 【所管調査事項】
- ・平成22年度荒川区包括外部監査結果(ふれあい館)
- ・平成22年度グリーンパール那須の運営状況
- ・平成24年～28年度健康増進計画策定の進め方

8月30日

- ・第3回定例会提出予定案件
- 【所管調査事項】
- ・地域生活支援プログラム事業

文教・子育て支援委員会

5月27日

- ・正副委員長を互選
- 6月7日
- ・委員会所管の組織及び分掌事務
- ・第2回定例会提出予定案件
- 【所管調査事項】
- ・平成24年度から使用する中学校教科書の採択
- ・南千住七丁目における認可保育所の整備

6月28日

- 【議案審査】1件
- 7月5日～6日
- ・区外施設視察(清里高原ロッジ・少年自然の家)

8月31日

- ・第3回定例会提出予定案件
- 【所管調査事項】
- ・(仮称)荒川二丁目複合施設基本計画(案)等
- ・平成22年度生涯学習施設の実績評価結果
- ・平成22年度生涯学習センターの実績評価結果
- ・生涯学習施設(町屋文化センター、生涯学習センター、清里高原ロッジ、少年自然の家)の指定管理者の選定結果
- ・中学校使用教科用図書の採択結果
- ・平成22年度保育施設の実績評価結果

9月16日

- 【議案審査】18件
- 【所管調査事項】
- ・区内施設調査(南千住地域包括支援センター、荒川地域包括支援センター)
- ・文化施設に係る指定管理者の選定結果
- ・荒川区区民ひろば館条例の一部改正
- ・平成22年度福祉施設の実績評価結果
- ・平成22年度荒川区営住宅の実績評価結果
- ・特別養護老人ホーム及び在宅高齢者通所サービスセンターの指定管理者の選定結果
- ・荒川生活実習所及び荒川福祉作業所の指定管理者の選定結果
- ・荒川区営住宅の指定管理者の選定結果
- 【議案審査】2件
- 【所管調査事項】
- ・古布回収調査事業の実施
- 7月13日
- ・請願・陳情について
- 8月29日
- 【請願・陳情審査】2件
- 【所管調査事項】
- ・第3回定例会提出予定案件
- ・荒川区景観計画及び荒川区景観条例のパブリックコメントの実施
- 【議案審査】3件
- 【所管調査事項】
- ・荒川区民住宅の指定管理者の選定結果
- ・平成22年度自転車駐車場の実績評価結果

9月15日

- 【議案審査】3件
- 【所管調査事項】
- ・荒川区民住宅の指定管理者の選定結果
- ・平成22年度自転車駐車場の実績評価結果

- ・生活保護世帯に対する冷房機器購入費及び設置費用の支給
- ・平成22年度文化施設の実績評価結果
- ・平成22年度ふれあい館・ひろば館の実績評価結果
- ・ふれあい館に係る指定管理者の選定結果
- ・区外施設調査(グリーンパール那須)
- 9月1日
- ・区内施設調査(南千住地域包括支援センター、荒川地域包括支援センター)
- 【所管調査事項】
- ・文化施設に係る指定管理者の選定結果
- ・荒川区区民ひろば館条例の一部改正
- ・平成22年度福祉施設の実績評価結果
- ・平成22年度荒川区営住宅の実績評価結果
- ・特別養護老人ホーム及び在宅高齢者通所サービスセンターの指定管理者の選定結果
- ・荒川生活実習所及び荒川福祉作業所の指定管理者の選定結果
- ・荒川区営住宅の指定管理者の選定結果
- 【議案審査】2件
- 【所管調査事項】
- ・古布回収調査事業の実施
- 7月13日
- ・請願・陳情について
- 8月29日
- 【請願・陳情審査】2件
- 【所管調査事項】
- ・第3回定例会提出予定案件
- ・荒川区景観計画及び荒川区景観条例のパブリックコメントの実施
- 【議案審査】3件
- 【所管調査事項】
- ・荒川区民住宅の指定管理者の選定結果
- ・平成22年度自転車駐車場の実績評価結果

9月16日

- 【議案審査】18件
- 【所管調査事項】
- ・区内施設調査(南千住地域包括支援センター、荒川地域包括支援センター)
- ・文化施設に係る指定管理者の選定結果
- ・荒川区区民ひろば館条例の一部改正
- ・平成22年度福祉施設の実績評価結果
- ・平成22年度荒川区営住宅の実績評価結果
- ・特別養護老人ホーム及び在宅高齢者通所サービスセンターの指定管理者の選定結果
- ・荒川生活実習所及び荒川福祉作業所の指定管理者の選定結果
- ・荒川区営住宅の指定管理者の選定結果
- 【議案審査】2件
- 【所管調査事項】
- ・古布回収調査事業の実施
- 7月13日
- ・請願・陳情について
- 8月29日
- 【請願・陳情審査】2件
- 【所管調査事項】
- ・第3回定例会提出予定案件
- ・荒川区景観計画及び荒川区景観条例のパブリックコメントの実施
- 【議案審査】3件
- 【所管調査事項】
- ・荒川区民住宅の指定管理者の選定結果
- ・平成22年度自転車駐車場の実績評価結果

9月15日

- 【議案審査】3件
- 【所管調査事項】
- ・荒川区民住宅の指定管理者の選定結果
- ・平成22年度自転車駐車場の実績評価結果



- ・生活保護世帯に対する冷房機器購入費及び設置費用の支給
- ・平成22年度文化施設の実績評価結果
- ・平成22年度ふれあい館・ひろば館の実績評価結果
- ・ふれあい館に係る指定管理者の選定結果
- ・区外施設調査(グリーンパール那須)
- 9月1日
- ・区内施設調査(南千住地域包括支援センター、荒川地域包括支援センター)
- 【所管調査事項】
- ・文化施設に係る指定管理者の選定結果
- ・荒川区区民ひろば館条例の一部改正
- ・平成22年度福祉施設の実績評価結果
- ・平成22年度荒川区営住宅の実績評価結果
- ・特別養護老人ホーム及び在宅高齢者通所サービスセンターの指定管理者の選定結果
- ・荒川生活実習所及び荒川福祉作業所の指定管理者の選定結果
- ・荒川区営住宅の指定管理者の選定結果
- 【議案審査】2件
- 【所管調査事項】
- ・古布回収調査事業の実施
- 7月13日
- ・請願・陳情について
- 8月29日
- 【請願・陳情審査】2件
- 【所管調査事項】
- ・第3回定例会提出予定案件
- ・荒川区景観計画及び荒川区景観条例のパブリックコメントの実施
- 【議案審査】3件
- 【所管調査事項】
- ・荒川区民住宅の指定管理者の選定結果
- ・平成22年度自転車駐車場の実績評価結果

- ・生活保護世帯に対する冷房機器購入費及び設置費用の支給
- ・平成22年度文化施設の実績評価結果
- ・平成22年度ふれあい館・ひろば館の実績評価結果
- ・ふれあい館に係る指定管理者の選定結果
- ・区外施設調査(グリーンパール那須)
- 9月1日
- ・区内施設調査(南千住地域包括支援センター、荒川地域包括支援センター)
- 【所管調査事項】
- ・文化施設に係る指定管理者の選定結果
- ・荒川区区民ひろば館条例の一部改正
- ・平成22年度福祉施設の実績評価結果
- ・平成22年度荒川区営住宅の実績評価結果
- ・特別養護老人ホーム及び在宅高齢者通所サービスセンターの指定管理者の選定結果
- ・荒川生活実習所及び荒川福祉作業所の指定管理者の選定結果
- ・荒川区営住宅の指定管理者の選定結果
- 【議案審査】2件
- 【所管調査事項】
- ・古布回収調査事業の実施
- 7月13日
- ・請願・陳情について
- 8月29日
- 【請願・陳情審査】2件
- 【所管調査事項】
- ・第3回定例会提出予定案件
- ・荒川区景観計画及び荒川区景観条例のパブリックコメントの実施
- 【議案審査】3件
- 【所管調査事項】
- ・荒川区民住宅の指定管理者の選定結果
- ・平成22年度自転車駐車場の実績評価結果



グリーンパール那須

- ・生活保護世帯に対する冷房機器購入費及び設置費用の支給
- ・平成22年度文化施設の実績評価結果
- ・平成22年度ふれあい館・ひろば館の実績評価結果
- ・ふれあい館に係る指定管理者の選定結果
- ・区外施設調査(グリーンパール那須)
- 9月1日
- ・区内施設調査(南千住地域包括支援センター、荒川地域包括支援センター)
- 【所管調査事項】
- ・文化施設に係る指定管理者の選定結果
- ・荒川区区民ひろば館条例の一部改正
- ・平成22年度福祉施設の実績評価結果
- ・平成22年度荒川区営住宅の実績評価結果
- ・特別養護老人ホーム及び在宅高齢者通所サービスセンターの指定管理者の選定結果
- ・荒川生活実習所及び荒川福祉作業所の指定管理者の選定結果
- ・荒川区営住宅の指定管理者の選定結果
- 【議案審査】2件
- 【所管調査事項】
- ・古布回収調査事業の実施
- 7月13日
- ・請願・陳情について
- 8月29日
- 【請願・陳情審査】2件
- 【所管調査事項】
- ・第3回定例会提出予定案件
- ・荒川区景観計画及び荒川区景観条例のパブリックコメントの実施
- 【議案審査】3件
- 【所管調査事項】
- ・荒川区民住宅の指定管理者の選定結果
- ・平成22年度自転車駐車場の実績評価結果

建設環境委員会

5月27日

- ・正副委員長を互選
- 6月7日
- ・委員会所管の組織及び分掌事務
- ・第2回定例会提出予定案件
- 【所管調査事項】
- ・町屋駅・区役所周辺地区バリアフリー基本構想の策定

6月28日

- 【議案審査】2件
- 【所管調査事項】
- ・古布回収調査事業の実施
- 7月13日
- ・請願・陳情について
- 8月29日
- 【請願・陳情審査】2件
- 【所管調査事項】
- ・第3回定例会提出予定案件
- ・荒川区景観計画及び荒川区景観条例のパブリックコメントの実施
- 【議案審査】3件
- 【所管調査事項】
- ・荒川区民住宅の指定管理者の選定結果
- ・平成22年度自転車駐車場の実績評価結果

9月15日

- 【議案審査】3件
- 【所管調査事項】
- ・荒川区民住宅の指定管理者の選定結果
- ・平成22年度自転車駐車場の実績評価結果

9月16日

- 【議案審査】18件
- 【所管調査事項】
- ・区内施設調査(南千住地域包括支援センター、荒川地域包括支援センター)
- ・文化施設に係る指定管理者の選定結果
- ・荒川区区民ひろば館条例の一部改正
- ・平成22年度福祉施設の実績評価結果
- ・平成22年度荒川区営住宅の実績評価結果
- ・特別養護老人ホーム及び在宅高齢者通所サービスセンターの指定管理者の選定結果
- ・荒川生活実習所及び荒川福祉作業所の指定管理者の選定結果
- ・荒川区営住宅の指定管理者の選定結果
- 【議案審査】2件
- 【所管調査事項】
- ・古布回収調査事業の実施
- 7月13日
- ・請願・陳情について
- 8月29日
- 【請願・陳情審査】2件
- 【所管調査事項】
- ・第3回定例会提出予定案件
- ・荒川区景観計画及び荒川区景観条例のパブリックコメントの実施
- 【議案審査】3件
- 【所管調査事項】
- ・荒川区民住宅の指定管理者の選定結果
- ・平成22年度自転車駐車場の実績評価結果

9月15日

- 【議案審査】3件
- 【所管調査事項】
- ・荒川区民住宅の指定管理者の選定結果
- ・平成22年度自転車駐車場の実績評価結果

9月16日

- 【議案審査】18件
- 【所管調査事項】
- ・区内施設調査(南千住地域包括支援センター、荒川地域包括支援センター)
- ・文化施設に係る指定管理者の選定結果
- ・荒川区区民ひろば館条例の一部改正
- ・平成22年度福祉施設の実績評価結果
- ・平成22年度荒川区営住宅の実績評価結果
- ・特別養護老人ホーム及び在宅高齢者通所サービスセンターの指定管理者の選定結果
- ・荒川生活実習所及び荒川福祉作業所の指定管理者の選定結果
- ・荒川区営住宅の指定管理者の選定結果
- 【議案審査】2件
- 【所管調査事項】
- ・古布回収調査事業の実施
- 7月13日
- ・請願・陳情について
- 8月29日
- 【請願・陳情審査】2件
- 【所管調査事項】
- ・第3回定例会提出予定案件
- ・荒川区景観計画及び荒川区景観条例のパブリックコメントの実施
- 【議案審査】3件
- 【所管調査事項】
- ・荒川区民住宅の指定管理者の選定結果
- ・平成22年度自転車駐車場の実績評価結果

9月15日

- 【議案審査】3件
- 【所管調査事項】
- ・荒川区民住宅の指定管理者の選定結果
- ・平成22年度自転車駐車場の実績評価結果

9月16日

- 【議案審査】18件
- 【所管調査事項】
- ・区内施設調査(南千住地域包括支援センター、荒川地域包括支援センター)
- ・文化施設に係る指定管理者の選定結果
- ・荒川区区民ひろば館条例の一部改正
- ・平成22年度福祉施設の実績評価結果
- ・平成22年度荒川区営住宅の実績評価結果
- ・特別養護老人ホーム及び在宅高齢者通所サービスセンターの指定管理者の選定結果
- ・荒川生活実習所及び荒川福祉作業所の指定管理者の選定結果
- ・荒川区営住宅の指定管理者の選定結果
- 【議案審査】2件
- 【所管調査事項】
- ・古布回収調査事業の実施
- 7月13日
- ・請願・陳情について
- 8月29日
- 【請願・陳情審査】2件
- 【所管調査事項】
- ・第3回定例会提出予定案件
- ・荒川区景観計画及び荒川区景観条例のパブリックコメントの実施
- 【議案審査】3件
- 【所管調査事項】
- ・荒川区民住宅の指定管理者の選定結果
- ・平成22年度自転車駐車場の実績評価結果

9月15日

- 【議案審査】3件
- 【所管調査事項】
- ・荒川区民住宅の指定管理者の選定結果
- ・平成22年度自転車駐車場の実績評価結果

9月16日

- 【議案審査】18件
- 【所管調査事項】
- ・区内施設調査(南千住地域包括支援センター、荒川地域包括支援センター)
- ・文化施設に係る指定管理者の選定結果
- ・荒川区区民ひろば館条例の一部改正
- ・平成22年度福祉施設の実績評価結果
- ・平成22年度荒川区営住宅の実績評価結果
- ・特別養護老人ホーム及び在宅高齢者通所サービスセンターの指定管理者の選定結果
- ・荒川生活実習所及び荒川福祉作業所の指定管理者の選定結果
- ・荒川区営住宅の指定管理者の選定結果
- 【議案審査】2件
- 【所管調査事項】
- ・古布回収調査事業の実施
- 7月13日
- ・請願・陳情について
- 8月29日
- 【請願・陳情審査】2件
- 【所管調査事項】
- ・第3回定例会提出予定案件
- ・荒川区景観計画及び荒川区景観条例のパブリックコメントの実施
- 【議案審査】3件
- 【所管調査事項】
- ・荒川区民住宅の指定管理者の選定結果
- ・平成22年度自転車駐車場の実績評価結果

9月15日

- 【議案審査】3件
- 【所管調査事項】
- ・荒川区民住宅の指定管理者の選定結果
- ・平成22年度自転車駐車場の実績評価結果



健康・危機管理対策調査特別委員会

5月27日

- ・正副委員長を互選
- 6月14日
- ・委員会の活動方針
- 【調査研究事項】
- ・今夏における節電対策
- ・福島第一原子力発電所の事故に対する区の取り組み状況
- 6月21日
- 【調査研究事項】
- ・福島第一原子力発電所の事故に対する区の取り組み状況
- 7月19日
- 【調査研究事項】
- ・福島県産の牛肉の放射性物質の検査結果
- 【陳情審査】1件

- ・南千住駅東口自転車等駐車場及びセンターまちや自転車駐車場指定管理者の選定結果
- ・特定緊急輸送道路沿道建物の耐震診断補助制度の拡充
- ・荒川区民住宅の明渡し等に関する訴えの提起(専決処分)
- ・荒川区民住宅の明渡し等に関する訴えの提起

- ・平成23年度健康週間を実施する事業内容
- ・高年齢者みまもりネットワーク事業における見守り活動の充実
- ・高齢者肺炎球菌ワクチン接種の助成開始

特別委員会

- ・南千住駅東口自転車等駐車場及びセンターまちや自転車駐車場の指定管理者の選定結果
- ・特定緊急輸送道路沿道建物の耐震診断補助制度の拡充
- ・荒川区民住宅の明渡し等に関する訴えの提起
- ・荒川区民住宅の明渡し等に関する訴えの提起(専決処分)

震災対策調査特別委員会

- ・正副委員長を互選
- 6月10日
- ・委員会の活動方針
- 【調査研究事項】
- ・東日本大震災における荒川区の対応
- 5月27日
- ・正副委員長を互選
- 6月10日
- ・委員会の活動方針
- 【調査研究事項】
- ・東日本大震災における荒川区の対応
- 5月27日
- ・正副委員長を互選
- 6月10日
- ・委員会の活動方針
- 【調査研究事項】
- ・東日本大震災における荒川区の対応

観光・文化推進調査特別委員会

5月27日

- ・正副委員長を互選
- 6月13日
- ・前委員会の活動状況
- ・委員会の活動方針
- 【調査研究事項】
- ・都電荒川線100周年記念事業
- 7月14日
- 【調査研究事項】
- ・荒川区の都市交流の現状
- ・モノづくり見学・体験スポット事業

意見書提出

本定例会では1件を可決し、関係機関に提出しました。

学校施設の防災機能向上のための新たな制度創設を求める意見書

学校施設は、児童生徒の学習・生活の場であるとともに、その多くは災害時には地域住民の避難所となるため、学校施設の安全性、防災機能の確保は極めて重要です。

この度の東日本大震災において、学校施設は震災直後から避難してきた多くの地域住民の避難生活の拠り所となりましたが、他方、食料や毛布等備蓄物資が不足し、通信手段を失い、外部と連携が取れなかつたなど、学校施設の防災機能について様々な課題が浮かび上がってきました。

文部科学省は今年7月、「東日本大震災の被害を踏まえた学校施設の整備について」と題する緊急提言をとりまとめました。今回の大震災を踏まえ、学校が災害時に子ども達や地域住民の応急避難場所という重要な役割を果たすことができるよう、今後の学校施設の整備に当たっては、教育機能のみならず、あらかじめ避難場所として必要な諸機能を備えておくという発想の転換が必要であることが提言されています。

よって、荒川区議会は、政府に対し、今回のように大規模地震等の災害が発生した場合においても、学校施設が地域の拠点として十分な機能するようにすべきであるとの

認識に立ち、学校施設の防災機能の向上を強力に推進するために活用できる国の財政支援制度の改善並びに財政措置の拡充に関する下記の項目について、速やかに実施するよう強く要請します。

記

1 新增改築時のみ整備できるとされている貯水槽・自家発電設備等防災設備整備を単独事業化するための新たな制度を創設すること。

2 制度創設に併せ、地方負担の軽減を図るため、地方財政措置の拡充を図ること。例えば、地方単独事業にしか活用できない防災対策事業債を国庫補助事業の地方負担に充当できるようにするとともに、耐震化事業同様の地方交付税措置を確保すること。

3 学校施設の防災機能向上とともに、再生可能エネルギーの積極的導入を図るため、太陽光発電のみではなく、太陽熱、温度差熱利用、蓄電池などについても補助対象を拡充すること。

(内閣総理大臣・総務大臣・財務大臣・文部科学大臣・国土交通大臣あて)

採択した請願・陳情

趣旨採択

- ・自転車（軽車両）の安全運転を啓発する事を求める陳情
- ・子ども達を放射線被害から守るため荒川区独自測定・調査及び対策を求める陳情

議案の審議結果

平成 23 年第 3 回定例会

○賛成 ×反対 - 退席
太字は討論のあったことを示す

議案番号・議案名	会派名・結果 (数字は会派人員)							結果
	自由民主党	公明党	日本共産党	民進党	あらかわ元気クラブ	日本創元新党	荒川区改革の会	
議員提出議案(1件)								
第16号 学校施設の防災機能向上のための新たな制度創設を求める意見書提出について	○	○	○	○	○	○	○	可決
区長提出議案(36件)								
第46号 公益的法人等への荒川区職員の派遣等に関する条例及び一般財団法人荒川区自治総合研究所に対する助成等に関する条例の一部を改正する条例	○	○	○	○	○	○	○	可決
第47号 荒川区学童クラブの運営に関する条例の一部を改正する条例	○	○	○	○	○	○	○	可決
第48号 荒川区特別区税条例等の一部を改正する条例	○	○	×	○	×	○	○	可決
第49号 荒川区区民ひろば館条例の一部を改正する条例	○	○	×	○	○	○	○	可決
第50号 平成23年度荒川区一般会計補正予算(第2回)	○	○	○	○	○	○	○	可決
第51号 平成23年度荒川区介護保険事業特別会計補正予算(第1回)	○	○	○	○	○	○	○	可決
第52号 (仮称)石浜ふれあい館建築工事請負契約	○	○	○	○	○	○	○	可決
第53号 荒川区立町屋文化センターの指定管理者の指定について	○	○	×	○	○	○	○	可決
第54号 荒川区立生涯学習センターの指定管理者の指定について	○	○	×	○	×	○	○	可決
第55号 荒川区立清里高原少年自然の家の指定管理者の指定について	○	○	○	○	×	○	○	可決
第56号 荒川区立清里高原ロッジの指定管理者の指定について	○	○	○	○	×	○	○	可決
第57号 荒川区民会館の指定管理者の指定について	○	○	×	○	×	○	○	可決
第58号 日暮里サニーホールの指定管理者の指定について	○	○	×	○	×	○	○	可決
第59号 荒川区ムーブ町屋の指定管理者の指定について	○	○	×	○	×	○	○	可決
第60号 南千住ふれあい館の指定管理者の指定について	○	○	×	○	×	○	○	可決
第61号 町屋ふれあい館の指定管理者の指定について	○	○	○	○	○	○	○	可決
第62号 尾久ふれあい館の指定管理者の指定について	○	○	○	○	○	○	○	可決
第63号 荒川山吹ふれあい館の指定管理者の指定について	○	○	○	○	○	○	○	可決

議案番号・議案名	会派名・結果 (数字は会派人員)							結果
	自由民主党	公明党	日本共産党	民進党	あらかわ元気クラブ	日本創元新党	荒川区改革の会	
第64号 荒川区立特別養護老人ホームサンハイム荒川の指定管理者の指定について	○	○	○	○	○	○	○	可決
第65号 荒川区立特別養護老人ホームグリーンハイム荒川の指定管理者の指定について	○	○	○	○	○	○	○	可決
第66号 荒川区立特別養護老人ホーム花の木ハイム荒川の指定管理者の指定について	○	○	○	○	○	○	○	可決
第67号 荒川区立サンハイム荒川在宅高齢者通所サービスセンターの指定管理者の指定について	○	○	○	○	○	○	○	可決
第68号 荒川区立グリーンハイム荒川在宅高齢者通所サービスセンターの指定管理者の指定について	○	○	○	○	○	○	○	可決
第69号 荒川区立花の木ハイム荒川在宅高齢者通所サービスセンターの指定管理者の指定について	○	○	○	○	○	○	○	可決
第70号 荒川区営住宅の指定管理者の指定について	○	○	○	○	○	○	○	可決
第71号 荒川区立荒川生活実習所の指定管理者の指定について	○	○	○	○	○	○	○	可決
第72号 荒川区立荒川福祉作業所の指定管理者の指定について	○	○	○	○	○	○	○	可決
第73号 荒川区民住宅の指定管理者の指定について	○	○	○	○	○	○	○	可決
第74号 南千住駅東口自転車等駐車場の指定管理者の指定について	○	○	○	○	○	○	○	可決
第75号 センターまちや自転車駐車場の指定管理者の指定について	○	○	○	○	○	○	○	可決
第76号 訴えの提起について	○	○	○	○	○	○	○	可決
認定第1号 平成22年度荒川区一般会計歳入歳出決算	○	○	×	○	×	○	×	認定
認定第2号 平成22年度荒川区国民健康保険事業特別会計歳入歳出決算	○	○	×	○	×	○	○	認定
認定第3号 平成22年度荒川区老人保健医療特別会計歳入歳出決算	○	○	×	○	×	○	○	認定
認定第4号 平成22年度荒川区後期高齢者医療特別会計歳入歳出決算	○	○	×	○	×	○	○	認定
認定第5号 平成22年度荒川区介護保険事業特別会計歳入歳出決算	○	○	×	○	×	○	○	認定